学校番号	１００１

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新編古典探究」　（東京書籍）						
副教材等	「新訂　国語図説〈六訂版〉」（啓隆社） 「覚えやすく忘れにくい　精選　古文単語 300PLUS　改訂版」　（三省堂） 「LT 古文１」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典探究では、一年生の時には「言語文化」の片翼であった「古典」について集中的に勉強します。基本は教科書の文章を扱い、正しい語句・文法に基づいて、内容を正確に理解していきます。日本の古典も、中国の漢文も、読解に至るまでは様々な知識や読解技術を必要としますで、覚えなければいけないことは多岐にわたりますが、究極の目標は、それらの知識や技術を使って内容を正確に読み取り、「書かれてあること」に対して自分の意見を持つことです。自分とは住む世界が違う人が書いた文章だと敬遠せずに、自分と同じ場所で違う時代を過ごした人が残した文章だという意識をもって、好奇心を以て挑んでほしいと思います。

2　学習の到達目標

『学習指導要領』の科目目標に準じて、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。
(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を身に着けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解や関心を深めることができるようにする。
(2)古典を通した先人のものの見方や感じ方を理解し、それに対する自分の意見や感性を、言葉による表現で相手に伝えることができるようにする。
(3)古典を通じて、日本古来の文化や物語に知的好奇心を持ち、我が国の言語文化の担い手として、豊かな感性と知識で社会にかかわろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことで語感を磨き、語彙を豊かにする。 古典を取り巻く周辺の文化について知り、時代時代の人の価値観や生活様式について知識を持つ。	文章の種類や性格を踏まえ、古典特有の表現に注意したうえで、構成や展開などを的確にとらえる。 書き手の考えや目的を正しく理解し、時代を超えて「対話」するなど、相手の価値観や思考に対して自分の考えを言葉によって明らかにすることを学ぶ。	教科書の内容を理解することに加えて、関連のある事柄について調べたり、二次創作を行ったりするなど、学んだ内容をさらに発展させて自分の想像や制作に活かす学びを行い、さらにそれをクラスの中で相互評価することで、他者の評価や感性に触れる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	読解の段取りを理解する 読解知識を養う 作品の主題をつかむ ［教材］説話 『宇治拾遺物語』 『十訓抄』	a：古典の世界に親しむために、必要な文法や語彙について理解することができる。 b[書]：より実践的、効率的かつ復習しやすい記録を目指し、読解手順が明確となったノートを作ることができる。 c：「古典を現代文と同様に読み解く」ため、内容について共感を持ち、それを表現することができる。	ワークシート 小テスト 定期テスト	ワークシート ノート 定期テスト	ワークシート ノート 制作物
	長文に触れる 物語を読み解く ［教材］随筆・軍記物 『徒然草』 『方丈記』 『平家物語』	a：古今の物語を読解していくうえで、それぞれに必要な知識、あるいは読解手順を活用できる。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分の内面世界をより充実させていくことができる。 c：「古典を現代文と同様に読み解く」ため、内容について共感を持ち、それを表現することができる。	ワークシート 小テスト 定期テスト	ワークシート ノート 定期テスト	ワークシート ノート 定期テスト
後期	漢文発展 ［教材］故事・逸話・漢詩 「蛇足」「知音」「出藍誉」「塞翁馬」「杞憂」「静夜思」「送元二使安西」「登岳陽楼」「登高」	a：訓読の基本を定着させ、正しく読むことができる。 b[書]：より実践的、効率的かつ復習しやすい記録を目指し、訓読手順が明確となったノートを作ることができる。 c：「漢文を古文と同様に読み解き、現代文と同様に理解する」ため、内容について共感を持ち、それを表現することができる。	ワークシート 小テスト 定期テスト	ワークシート ノート 定期テスト	ワークシート ノート 定期テスト 制作物
	総合的な「古典読解」の習得 ［教材］ 『竹取物語』 『更級日記』 『世間胸算用』	a：古今の文章を読解していくうえで、ジャンルそれぞれの特徴をつかみ、必要な知識、読解手順を活用できる。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分の内面世界をより充実させていくことができる。 c：「日本語で書かれた文章」という括りで作品を理解し、それに足して自分の意見を持ち、他者と共有することができる。	ワークシート 小テスト 定期テスト	ワークシート ノート 定期テスト	ワークシート ノート 定期テスト

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間
・書くこと　…　（　20　）時間
・読むこと　…　（　30　）時間